

日本を知り、 世界を紡ぐ。

わかやま日本学副専攻プログラム

わかやま日本学副専攻プログラムは、日本文化が集積する和歌山の地に根付く知恵や知識の学びと体験を通して、日本語とその背景にある日本文化を統合した日本学を修め、日本文化への深い理解力を培う教育プログラムです。

様々な国の学生と共に日本学を学ぶことで、日本及び世界の諸課題をグローバルな課題の中に位置づけながら、理解、表現する能力を涵養します。

エントリーはこちら

わかやま日本学
副専攻プログラム
申請フォーム

<https://forms.office.com/r/dxJzVVP8GB>



わかやま日本学副専攻プログラムの修了認定について

以下に掲げる授業科目のうち、所定の18単位を修得し、修了認定された学生には3年次後期より学長名で「修了認定証書」を交付します。

カリキュラムマップ



	科目名	科目区分	単位	内容
日本文化関連	必修 日本学概論	教養科目【基幹】	2	多言語多文化共生が必要とされる国際化の時代において、日本の社会や文化に関心をもつ学生を対象とする科目です。和歌山を含む地域を日本及び国際的な視野に関連付けて、言語、社会などの多様な視点から日本語・日本文化・日本社会を取り上げ、広く日本学の基礎を学びます。
	選択必修 日本学演習	教養科目【実践】	2	日本文化について関心をもつ学生を対象とする科目です。和歌山及び周辺地域でのフィールドワークを通して、歴史や文化、ポップカルチャーなどを学ぶとともに、伝統文化に関する体験学習を組み込むことで、日本文化を総合的に理解することを目指します。また、体験学習から発表までの一連の活動を通して、個々の文化理解を深めていきます。
	日本学特論【後期のみ】	連携展開科目	2	語学科目、日本学概論で学んだグローバルな視点などを土台に、日本語、日本文化、日本の社会についてテーマを取り上げ、講義やディスカッションを通して、日本学についての理解を深めます。講義には、ゲストスピーカーを招く予定です。
	選択 日本事情 (日本の社会と文化)	教養科目【実践】	2	現在日本の衣・食・住といった生活文化や、家族や地域社会の在り方などについて学び、また、和歌山の伝統的な祭りに参加したり、日本の料理や武道や遊びなどを体験したりするなど、多様な学習を通して日本について学びます。
	選択 ビジネス・コミュニケーション	連携展開科目	2	将来、日本企業や日本を市場とする企業などへの就職を志望する学生を対象とする科目です。ビジネス場面で使用される日本語の会話力や文書力を身につけます。
	選択 世界の中の日本語	連携展開科目	2	日本語を母語としない学習者に対する日本語教育に関心をもつ学生を対象とする科目です。日本語を「国語」としてではなく「外国語」としての日本語」としてとらえ、日本語の特徴を学び、外国人に対する日本語の教え方や、「やさしい日本語」「継承語」など多言語社会における日本語、日本語教育の問題について学びます。
	選択 ビジネス日本語	連携展開科目	2	将来、日本企業や日本を市場とする企業などへの就職を志望する学生を対象とする科目です。ビジネス場面で使用される日本語の会話力や文書力を身に付け、日本企業の商品、宣伝・広告、社会貢献活動・SDGsへの取り組みなどについて調査・発表し、さらに日本文化の基礎教養を身につけて、将来日本企業などで活躍することを目指します。
	選択 外国語として学ぶ日本語	連携展開科目	2	日本語を「外国語」として見る目を養い、その基本的な文法や語彙を、日本語学習者がわかる日本語で説明できるスキルを学びます。また、日本語教師になるための基礎知識を身につけ、理論に基づいた実践ができるようになることを目指します。
10 単位	選択 *指定した選択科目 《最大4単位まで含むことができる》 民俗芸能論 わかやまを学ぶ Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	教養科目【基幹】	各2	
	4 単位	選択必修 日本語科目 ※外国人留学生対象 英語・初修外国語科目	教養科目【実践】 教養科目【実践】	各2 各2
国際連携関連	選択 国際開発論	教養科目【基幹】	2	SDGsの諸課題について、履修者の出身国・地域間の比較調査研究や解決に向けた考察をおこないます。グループによる調査研究・分析においては、「わかやま日本語専攻」で得た知見も含め、多様な視点から解決方法を考える能力を身につけます。
	選択 グローバル社会論	連携展開科目	2	グローバルな課題や取り組みを、自分ごととして捉え、多様な視点で考察できる能力を身につけることを目標とします。和歌山で国際協力、海外展開、地域の課題に取り組みされている方をゲストスピーカーとして招く予定です。
	4 単位	選択 *指定した選択科目 《最大2単位まで含むことができる》 国際協力論 ASEANと日本 異文化コミュニケーション共同演習 B International Comparative Education 多様な視点からみる現代東南アジア	教養科目【基幹】 教養科目【基幹】 連携展開科目 連携展開科目 教養科目【基幹】	各2 各1